

上越市立図書館 読書週間推薦

こどもの本ブックリスト 2016

～中学生・高校生向け～



10月27日～11月9日は
読書週間です

【イラストマークについて】

対象となる年代を、以下のマークで表しています。マークは本の背表紙にはってあります。

■中学生～  ■高校生～  ■おはなし・物語ではない本 

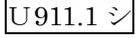
中学生

仕事を選ぶ 先輩が語る働く現場64

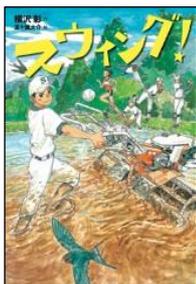
朝日中学生ウィークリー編集部/編著 朝日学生新聞社 2014 

この本には、64の職業とそこで働く人が紹介されています。気になる職業がある人も、将来やりたい職業を探している人も、さまざまな仕事について知るきっかけとなる1冊です。

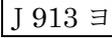
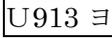
十代に贈りたい心の名短歌 100

田中章義/編著 PHP研究所 2014 

名短歌100首を厳選し、分かりやすく解説した本。短歌はたった31文字の詩型ですが、時として心を支える杖となり、人生をより豊かなものにしてくれます。時代を超えても変わることのない人々の想いを感じてみませんか。



スウィング！

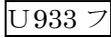
横沢彰/作 五十嵐大介/絵 童心社 2011  

「おまえが本気でやりたいと思うなら、自分を信じてやっていけ。」

亡くなった父に代わって田んぼの面倒を見ると決めた主人公、直^{なお}。仲間を支えられながら、野球にも田んぼにも本気で向き合っていきます。糸魚川市出身の著者が描くリアルな農業風景からは、新潟の山あいの田んぼの息づかいが感じられます。

ジョン万次郎

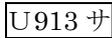
マーギー・プロイス/著

金原端人/訳 集英社 2012 

これはまだ、日本が鎖国をしていた時代の実際の人物、万次郎をもとにした物語です。土佐の貧しい漁師の息子に生まれた万次郎が、どんなてん末をたどって「アメリカを発見した少年」と呼ばれるまでになったのか。青春冒険譚です。

ワーキング・ホリデー

坂木司/著

文藝春秋 2007  

元ヤンでホストをしていた大和の前に、突然息子と名乗る小学生の進が現れました。大和は宅配便ドライバーに転職し、しっかり者の進と暮らし始めます。ぎこちない父子のひと夏の交流を描いた、心がほっこりする物語です。

アリブランディを探して

メリーナ・マーケッタ/作 神戸万知/訳 岩波書店 2013 U933カ

ジョセフィン・アリブランディはイタリア系オーストラリア人の女の子。たださえ複雑なジョセフィンの日常に、今まで会ったことのなかった実の父親が現れます。お互いの生活には踏みこまないと決めた二人でしたが、ジョセフィンが起こした事件が原因で、また顔を合わせることに…。17歳の女の子が抱えるさまざまな悩みが描かれた物語です。



生き物と向き合う仕事

(ちくまプリマー新書) 田向健一/著 筑摩書房 2016 U649

獣医師になるためには何が必要なのか、動物を救うとはどういうことなのか、命は平等ではないのか…。獣医師である著者が自らの知識や経験をもとに、命と向き合うために何が大切なのかを教えてください。また、生き物に関わる仕事だけでなく、将来の夢に近づくために今をどう過ごすべきなのか、著者のメッセージが込められています。

声のお仕事

川端裕人/著 文藝春秋 2016 U913カ

結城勇樹は二十代後半になっても代表作のない崖っぷち声優。ある日臨んだオーディションで同年代の人気声優・大島啓吾に出会い、「一緒に仕事がしたい」と言われますが、面識のない大島からの突然のアプローチに結城は戸惑います。その理由は、結城がすっかり忘れてしまっていた過去にあったのです。知る機会の少ない声優の世界に焦点を当てたお仕事小説です。

ことばと思考

(岩波新書) 今井むつみ/著 岩波書店 2010 B801イ

私たちは【ことば】を使います。では、異なることば(言語)を使う人同士が出会ったらどうなるのでしょうか?色に関することばを「明るい色」と「暗い色」しか持たない言語の人たちは、日本語の「赤色」や「青色」をどのように認識するのでしょうか。認知心理学の観点から、ことばと認識の密接な関わりとことばが思考に与える影響について考察します。

島はぼくらと

辻村深月/著 講談社 2013 U913ツ Fツ

日本本土から海を渡った先に位置する牙島、そこに暮らす若者たちの物語です。島から本土の学校にフェリーで通う高校生、1ターンで移住してきた青年、シングルマザー、それぞれが抱える不安と葛藤しながらも周囲の人たちとの絆に支えられて自分の足で前へ歩いていきます。